



## 2025年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2025年5月9日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社  
コード番号 5742 URL <https://www.nic-inc.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼社長 CEO (氏名) 西川浩司  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 橋本清志  
定時株主総会開催予定日 2025年6月21日 配当支払開始予定日 2025年6月23日  
有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-5530-8066

2025年6月23日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期の業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

#### (1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	6,647	37.0	231		222		212	
2024年3月期	4,852	27.1	478		482		599	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	38.92		6.2	3.1	3.5
2024年3月期	110.07		15.5	6.5	9.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 百万円 2024年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	7,369	3,424	46.5	628.57
2024年3月期	6,953	3,449	49.6	633.05

(参考) 自己資本 2025年3月期 3,424百万円 2024年3月期 3,449百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	410	5	209	598
2024年3月期	313	0	268	402

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期		20.00		21.00	41.00	223		5.8
2025年3月期		20.00		21.00	41.00	223	105.3	6.5
2026年3月期(予想)								

(注) 2026年3月期の配当予想額については未定であります。

### 3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

次期につきましては、増収を見込むものの、利益面においての精査には今暫く時間を要すると判断し、現時点での業績予想の公表は控えさせていただきます。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	5,500,000 株	2024年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2025年3月期	51,446 株	2024年3月期	51,446 株
期中平均株式数	2025年3月期	5,448,554 株	2024年3月期	5,448,554 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(重要な会計上の見積り) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(持分法損益等) .....	14
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	16
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	16
(2) 役員の変動 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善がみられ、緩やかな景気回復基調となった一方で、原材料等の物価高騰や長引く海外情勢の不安定さなどにより、先行きが不透明な状況が続きました。このような状況において、当社主力製品である「アルファフレームシステム」の一般顧客向け販売は堅調に推移いたしました。また、半導体関連企業の新たな設備投資意欲の活発化やFPD製造関連企業の設備投資意欲の改善により、自動化・省人化装置等については受注が回復傾向となりました。さらに、製造原価低減に向けた生産体制の見直しの成果も表れることとなりました。

この結果、当事業年度の売上高は6,647百万円（前期比137.0%）、営業利益が231百万円（前期は営業損失478百万円）、経常利益が222百万円（前期は経常損失482百万円）、当期純利益は212百万円（前期は当期純損失599百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### [F A部門]

F A部門におきましては、「アルファフレームシステム」の一般顧客向けの販売では、当社独自の設計サポートサービス「カクチャ<sup>TM</sup>」及び組立作業の省人化を可能とする「マーキングシステム<sup>TM</sup>」を中心とした積極的な営業活動により受注件数が増加し、これに加え大口顧客向けの案件についても安定的な受注を獲得できたこと、さらに装置品においても、車載電池関連の生産設備及び大型構造物の受注が継続しており、また、半導体関連企業とFPD製造装置関連企業における設備投資も継続したことから、売上高は堅調に増加しました。

この結果、当部門の売上高は5,428百万円（前期比143.4%）となりました。

#### [商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客の生産が引き続き低位に推移する中で積極的な受注活動を展開したものの、消耗品や治工具類の需要が減少したことにより、これらの売上高は低調に推移しました。一方、機械設備関係については、主要顧客の設備投資にて大型の設備ラインを受注したことにより、売上高が増加しました。

この結果、当部門の売上高は1,218百万円（前期比114.1%）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (イ) 資産

当事業年度末における総資産は、前期末と比べ415百万円増加し、7,369百万円となりました。これは主に、現金及び預金が195百万円、売掛金が438百万円、原材料及び貯蔵品が146百万円、それぞれ増加した一方で、電子記録債権が259百万円、建物（純額）が124百万円、それぞれ減少したことなどによります。

#### (ロ) 負債

当事業年度末における負債は、前期末と比べ440百万円増加し、3,944百万円となりました。これは主に、買掛金が365百万円、短期借入金が250百万円、それぞれ増加した一方で、長期借入金が197百万円減少したことなどによります。

#### (ハ) 純資産

当事業年度末における純資産は、前期末と比べ24百万円減少し、3,424百万円となりました。これは主に、当期純利益の計上212百万円があった一方で、配当金に係る利益処分223百万円があったことにより、利益剰余金が11百万円減少したことなどによります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は598百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、410百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税引前当期純利益が222百万円、減価償却費の計上が255百万円、仕入債務の増加による資金の増加が397百万円あった一方で、売上債権の増加による資金の減少が262百万円、棚卸資産の増加による資金の減少が194百万円あったことなどが主な要因であります。

#### (ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、5百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の売却による収入10百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出が3百万円、投資有価証券の取得による支出が4百万円あったことなどが主な要因であります。

#### (ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、209百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは短期借入金の純増による資金の増加が250百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が197百万円、配当金の支払額が223百万円あったことなどが主な要因であります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにおきましては、中長期的には、世界経済は緩やかに成長が見込まれるものの、企業の投資意欲に影響を与える様々な要素に不確実性が見受けられます。

以上から、世界的に旺盛なAI半導体を始めとする半導体関連企業の設備投資等により当社の業績も堅調に推移しておりますが、今後の動向を見極めるには今暫く時間を要すると判断し、現時点での業績予想の公表につきましては控えさせていただくことといたしました。

なお、動向を見極めることが出来次第、速やかに開示する所存であります。

### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準にて財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	402,831	598,750
受取手形	21,893	10,866
電子記録債権	1,000,393	740,928
売掛金	627,535	1,066,280
契約資産	51,717	146,578
商品及び製品	172,805	179,076
仕掛品	254,533	295,660
原材料及び貯蔵品	491,312	638,218
前渡金	683	792
前払費用	7,475	9,555
未収還付法人税等	3,761	—
その他	17,888	60,590
流動資産合計	3,052,831	3,747,297
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,689,003	3,689,003
減価償却累計額	△1,696,907	△1,821,139
建物（純額）	1,992,096	1,867,863
構築物	287,939	287,939
減価償却累計額	△142,778	△159,961
構築物（純額）	145,160	127,977
機械及び装置	711,462	701,258
減価償却累計額	△489,712	△527,921
機械及び装置（純額）	221,749	173,336
車両運搬具	32,722	32,722
減価償却累計額	△32,273	△32,666
車両運搬具（純額）	448	56
工具、器具及び備品	354,152	337,488
減価償却累計額	△294,809	△304,451
工具、器具及び備品（純額）	59,343	33,037
土地	1,003,545	1,003,545
リース資産	214,884	161,044
減価償却累計額	△98,887	△102,036
リース資産（純額）	115,996	59,007
建設仮勘定	31,738	26,321
有形固定資産合計	3,570,079	3,291,146
無形固定資産		
ソフトウェア	20,705	16,804
その他	1,947	1,947
無形固定資産合計	22,652	18,751

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	253,188	245,453
出資金	4,370	4,370
長期前払費用	18,019	8,867
繰延税金資産	6,149	31,974
その他	26,613	21,908
投資その他の資産合計	308,340	312,573
固定資産合計	3,901,072	3,622,470
<b>資産合計</b>	<b>6,953,904</b>	<b>7,369,767</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形	83,846	47,733
電子記録債務	755,458	822,651
買掛金	311,384	677,320
短期借入金	350,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	197,000	197,000
リース債務	43,571	30,767
未払金	86,493	70,350
未払費用	50,648	41,487
未払法人税等	1,285	41,880
契約負債	314	999
預り金	19,945	11,977
賞与引当金	57,938	62,181
製品保証引当金	480	780
受注損失引当金	119	—
その他	—	49,312
流動負債合計	1,958,486	2,654,442
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,212,000	1,015,000
リース債務	106,610	50,852
退職給付引当金	226,007	223,091
資産除去債務	1,583	1,583
固定負債合計	1,546,200	1,290,526
<b>負債合計</b>	<b>3,504,687</b>	<b>3,944,968</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金		
資本準備金	146,100	146,100
資本剰余金合計	146,100	146,100
利益剰余金		
利益準備金	8,750	8,750
その他利益剰余金		
別途積立金	1,430,000	1,430,000
固定資産圧縮積立金	26,025	24,954
繰越利益剰余金	1,675,962	1,665,704
利益剰余金合計	3,140,738	3,129,408
自己株式	△34,791	△34,791
株主資本合計	3,408,147	3,396,817
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,069	27,981
評価・換算差額等合計	41,069	27,981
純資産合計	3,449,216	3,424,798
負債純資産合計	6,953,904	7,369,767

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>売上高</b>		
製品売上高	3,785,234	5,428,885
商品売上高	1,067,720	1,218,473
売上高合計	4,852,954	6,647,358
<b>売上原価</b>		
製品売上原価		
製品期首棚卸高	-	-
当期製品製造原価	3,184,791	4,159,445
合計	3,184,791	4,159,445
製品期末棚卸高	-	-
製品売上原価	3,184,791	4,159,445
商品売上原価		
商品期首棚卸高	27,100	28,583
当期商品仕入高	914,058	1,044,477
合計	941,158	1,073,060
商品期末棚卸高	28,583	18,107
商品売上原価	912,575	1,054,953
売上原価合計	4,097,367	5,214,399
<b>売上総利益</b>	<b>755,587</b>	<b>1,432,958</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>		
運賃	90,458	108,486
広告宣伝費	33,926	18,676
役員報酬	104,661	101,601
給料及び賞与	515,286	470,397
賞与引当金繰入額	29,071	30,522
退職給付費用	30,833	15,089
支払手数料	61,562	63,003
交通費	59,845	72,961
減価償却費	64,657	63,589
研究開発費	7,519	2,706
賃借料	43,300	43,469
その他	192,618	210,836
販売費及び一般管理費合計	1,233,742	1,201,340
営業利益又は営業損失(△)	△478,154	231,618

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業外収益</b>		
受取配当金	7,707	8,159
仕入割引	3,649	6,703
固定資産売却益	793	1,799
その他	5,502	3,595
営業外収益合計	17,653	20,257
<b>営業外費用</b>		
支払利息	7,167	11,058
固定資産売却損	14,260	10,036
雑損失	-	7,905
その他	149	206
営業外費用合計	21,577	29,206
経常利益又は経常損失(△)	△482,079	222,669
特別利益		
関係会社清算益	21,329	-
特別利益合計	21,329	-
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△460,749	222,669
法人税、住民税及び事業税	2,678	31,231
法人税等調整額	136,315	△20,623
法人税等合計	138,993	10,608
当期純利益又は当期純損失(△)	△599,743	212,061

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
					別途積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	27,096	2,498,026	3,963,872
当期変動額								
剰余金の配当							△223,390	△223,390
当期純損失(△)							△599,743	△599,743
固定資産圧縮積立金の取崩						△1,070	1,070	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△1,070	△822,063	△823,134
当期末残高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	26,025	1,675,962	3,140,738

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△34,791	4,231,281	40,401	40,401	4,271,682
当期変動額					
剰余金の配当		△223,390			△223,390
当期純損失(△)		△599,743			△599,743
固定資産圧縮積立金の取崩		-			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			668	668	668
当期変動額合計	-	△823,134	668	668	△822,466
当期末残高	△34,791	3,408,147	41,069	41,069	3,449,216

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
					別途積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	26,025	1,675,962	3,140,738
当期変動額								
剰余金の配当							△223,390	△223,390
当期純利益							212,061	212,061
固定資産圧縮積立金の取崩						△1,070	1,070	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△1,070	△10,258	△11,329
当期末残高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	24,954	1,665,704	3,129,408

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△34,791	3,408,147	41,069	41,069	3,449,216
当期変動額					
剰余金の配当		△223,390			△223,390
当期純利益		212,061			212,061
固定資産圧縮積立金の取崩		-			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△13,088	△13,088	△13,088
当期変動額合計	-	△11,329	△13,088	△13,088	△24,417
当期末残高	△34,791	3,396,817	27,981	27,981	3,424,798

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△460,749	222,669
減価償却費	282,032	255,679
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,891	4,243
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△11,122	△2,916
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△365	300
受取利息及び受取配当金	△9,071	△8,736
支払利息	7,167	11,058
関係会社清算損益 (△は益)	△21,329	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	13,466	8,236
売上債権の増減額 (△は増加)	485,788	△262,429
棚卸資産の増減額 (△は増加)	98,909	△194,303
仕入債務の増減額 (△は減少)	△66,954	397,015
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△82,627	51,324
その他	44,887	△64,400
小計	274,141	417,741
利息及び配当金の受取額	3,628	2,978
利息の支払額	△7,167	△11,058
法人税等の支払額	△3,860	△2,745
法人税等の還付額	46,324	3,820
営業活動によるキャッシュ・フロー	313,066	410,736
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△97,132	△3,774
有形固定資産の売却による収入	4,901	10,343
無形固定資産の取得による支出	△4,012	△3,000
投資有価証券の取得による支出	△4,800	△4,800
関係会社の整理による収入	102,139	—
その他	△377	△4,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	719	△5,389
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△197,000	△197,000
配当金の支払額	△223,021	△223,029
その他	△48,115	△39,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,136	△209,429
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	45,649	195,918
現金及び現金同等物の期首残高	357,182	402,831
現金及び現金同等物の期末残高	402,831	598,750

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

(一定期間にわたり充足される履行義務による収益の認識)

### 1. 当事業年度の財務諸表に計上した金額

当事業年度における売上高6,647,358千円のうち、一定期間にわたり充足される履行義務による売上高は931,713千円であります。

### 2. 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

#### ① 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出方法

装置品製作請負に係る収益の計上において、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を認識しております。進捗度は、見積総原価に対する発生原価の割合（インプット法）で算出しております。また、当該進捗度を合理的に見積る事ができない場合には、発生したコストの範囲で収益を認識しております。

#### ② 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定

収益認識基準の適用に当たり用いた主要な仮定は、製造原価総額及び進捗度であり、過去の実績や事業環境等により合理的と判断した情報に基づいて見積っております。

#### ③ 翌事業年度の財務諸表に与える影響

製造原価総額及び進捗度は、過去の実績や事業環境等により合理的と判断した情報に基づいて見積っております。しかし、事後に判明する事実の存在や状況の変化による設計変更等により作業内容が変更される可能性があります。したがって、これらの見積り及び仮定に基づく数値は、一定の不確実性を伴うため、実際の結果と異なる場合があります。翌事業年度の財務諸表に影響を与える可能性があります。

(繰延税金資産の回収可能性)

### 1. 当事業年度の財務諸表に計上した金額

当事業年度の財務諸表に計上した繰延税金資産の金額は31,974千円であります。

### 2. 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

#### ① 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出方法

当社は、将来の課税所得の見積額及び一時差異等のスケジューリングによって繰延税金資産の回収可能性について判断し、将来減算一時差異の解消又は税務上の繰越欠損金の使用によって将来の税金負担を軽減する効果を有すると認められる範囲で繰延税金資産を認識しております。

#### ② 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定

将来の課税所得の見積額は、経営者に承認された将来の事業計画を基礎としております。当該見積りにおいては、将来の売上高、原材料価格の推移について、入手可能な情報に基づき合理的であると判断する仮定が含まれております。

#### ③ 翌事業年度の財務諸表に与える影響

当該見積りは、将来の市場動向及び当社の経営状況並びに事業戦略の変化により、見積りの前提とした条件や仮定に変更が生じた場合、翌事業年度以降の財務諸表に影響を与える場合があります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「F A部門」・「商事部門」の2部門体制で事業展開を行っており、当該2事業部門を報告セグメントとしております。

「F A部門」は、機械・装置の基礎フレームなど機械要素となるアルミ製構造部材のアルファフレーム及びフレーム同士を結合するブラケット等の補助部品システムからなる「アルファフレームシステム」の開発・設計・製造・販売、「アルファフレームシステム」を使用した自動・省力化装置及びクリーンブースやその機器・システム、その他マシンカバーやマシンベース等の工業製品の開発・設計・製造・販売を行っております。

「商事部門」は、上記2部門の「メーカー機能」を活用した工場等の製造設備導入提案営業及び、工業用砥石・鏝・工具・ツール等の工業生産財の販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。また、報告セグメントの利益は営業損失ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表 計上額
	F A部門	商事部門	計		
売上高					
一時点で移転される 財及びサービス	3,488,379	764,515	4,252,894	—	4,252,894
一定の期間にわたり移転される 財及びサービス	296,854	303,205	600,059	—	600,059
外部顧客への売上高	3,785,234	1,067,720	4,852,954	—	4,852,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,785,234	1,067,720	4,852,954	—	4,852,954
セグメント利益又は損失(△)	△539,484	61,329	△478,154	—	△478,154
セグメント資産	5,574,040	466,757	6,040,797	913,106	6,953,904
その他の項目					
減価償却費	277,151	4,881	282,032	—	282,032
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	163,814	—	163,814	△55,117	108,697

(注) 1. セグメント利益又は損失は、財務諸表の営業損失と対応しております。

2. セグメント資産における調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額における調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係る金額であります。

4. セグメント資産ならびに有形固定資産及び無形固定資産の増加額における調整額には立山第3工場の隣地取得における建設仮勘定から各セグメントへの振替額を含んでおります。

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表 計上額
	F A部門	商事部門	計		
売上高					
一時点で移転される 財及びサービス	4,758,811	956,833	5,715,644	—	5,715,644
一定の期間にわたり移転される 財及びサービス	670,073	261,640	931,713	—	931,713
外部顧客への売上高	5,428,885	1,218,473	6,647,358	—	6,647,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,428,885	1,218,473	6,647,358	—	6,647,358
セグメント利益	155,883	75,734	231,618	—	231,618
セグメント資産	5,744,404	508,737	6,253,142	1,116,625	7,369,767
その他の項目					
減価償却費	251,023	4,655	255,679	—	255,679
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,621	—	3,621	△968	2,653

(注) 1. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と対応しております。

2. セグメント資産における調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額における調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係る金額であります。

#### 【関連情報】

##### 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

##### 2 主要な顧客ごとの情報

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
キャノン株式会社	686,800	F A部門
ダイドー株式会社	512,815	F A部門

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
キャノン株式会社	1,531,936	F A部門
ダイドー株式会社	848,915	F A部門

(持分法損益等)

関連会社がないため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	633円05銭	628円57銭
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)	△110円07銭	38円92銭
(1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額算定上の基礎)		
当期純利益金額又は当期純損失金額(△) (千円)	△599,743	212,061
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	
普通株主に係る 当期純利益金額又は当期純損失金額(△) (千円)	△599,743	212,061
普通株式の期中平均株式数(株)	5,448,554	5,448,554

(注) 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ① 生産実績及び商品仕入実績

当事業年度の生産実績及び商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

###### ・ 生産実績

セグメント名称	生産高 (千円)	前期比 (%)
F A部門	5,428,885	143.4
合計	5,428,885	143.4

###### ・ 商品仕入実績

セグメント名称	品目	仕入高 (千円)	前期比 (%)
商事部門	工業用砥石	77,825	77.9
	機械設備	681,804	131.8
	工具・ツール・油脂類	284,847	95.9
合計		1,044,477	114.3

###### ② 受注実績

当事業年度の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高 (千円)	前期比 (%)	受注残高(千円)	前期比 (%)
F A部門	5,803,258	144.5	1,308,147	140.1
商事部門	1,245,674	129.2	194,219	116.3
合計	7,048,932	141.5	1,502,367	136.5

###### ③ 販売実績

当事業年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高 (千円)	前期比 (%)
F A部門	5,428,885	143.4
商事部門	1,218,473	114.1
合計	6,647,358	137.0

(注) 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合。

相手先	前事業年度		当事業年度	
	販売高 (千円)	割合 (%)	販売高 (千円)	割合 (%)
キャノン株式会社	686,800	14.2	1,531,936	23.0
ダイドー株式会社	512,815	10.6	848,915	12.8

##### (2) 役員の異動

本年6月21日開催予定の定時株主総会に付議する取締役の各候補者は次のとおりです。

###### ① 任期満了により再任予定の取締役候補者

西川 浩司 (現 代表取締役会長兼社長CEO)

西川 重子 (現 取締役相談役)

野村 良一 (現 取締役副社長執行役員CTO)

猿田 崇 (現 取締役常務執行役員)

山崎 克己 (現 取締役常務執行役員)

###### ② 新任取締役候補者

高橋 文伸 (新任 社外取締役)

###### ② 就任及び退任予定日

2025年6月21日

(注) 役員の異動につきましては、2025年5月9日付「役員人事の内定に関するお知らせ」をご参照願います。